



## 東京交響楽団 第九合唱演奏会 (12月26日)

第九加茂市民合唱団の皆さんと加茂出身のソリスト

(左から) 芳賀 恵さん、押見朋子さんと三浦克次さん(右)

### 主な内容

- 小池清彦市長の市政報告  
加茂川と下条川の改修計画の  
見直しと要望書提出について …… 25
- 平成23年のできごと …… 69
- 平成22年度決算 …… 10
- 人権擁護委員の活動 …… 11
- 加茂の風土記 …… 12

## 加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう

# 市政報告

加茂市長 小池清彦

しかし、このたびの七・二九豪雨では、千ミリの雨が降り、大変なこ  
とになりました。

私達は、今後千五百ミリの豪雨に  
備えなければならぬと思います。

去る七月二十九日と三十日に発生  
した七・二九豪雨での状況にかんが  
み、このたび泉田知事さんに要望書  
を提出いたしました。

川についての現在の新潟県の改修計  
画は、まことに不十分で、甚だしく  
不安であります。

地球温暖化により、度々大豪雨が  
降るようになり、平成十六年の七・  
一三水害では五百ミリの雨が降って、  
掲げます。

知事さん宛の要望書の全文を次に  
私達を驚かせました。

新潟県知事 泉 田 裕 彦 様

加茂市長 小 池 清 彦

## 加茂川及び下条川の改修計画の見直しと 大幅な修正について（要望）

平成23年7月新潟・福島豪雨により、加茂川、下条川の水位は、たちまち「氾濫危険水位」を越え、加茂川の下流部は湖のようになり、下条川は溢水まであと13センチまで迫り、中興野、下興野、天神林、境に避難指示を発令するに至りました。

新潟県御当局におかれましては、平成16年の7.13水害の状況にかんがみ、加茂川及び下条川の堤防の嵩上げと河道掘削を行うこととされ、加茂川の堤防嵩上げについては、平成19年度及び20年度に実施設計を行われ、21年度から本格的に工事に着手されたところであり、心から感謝しております。また、下条川についても、21年度には測量及び地質調査が行われ、22年度及び23年度には詳細設計を行っておられるところであり、心から感謝しております。

しかしながら、このたびの平成23年7月新潟・福島豪雨による加茂川と下条川の水位の上昇は、平成16年の7.13水害の規模を大きく上回り、

予想を遥かに越えたものとなりました。地球温暖化の影響で、近い将来、このたびの豪雨を遥かに上回る豪雨が発生することは、必至であります。従って、現在の計画では極めて不十分であり、大幅に堤防を嵩上げし、下流部の堆積土砂は、必ず全部撤去されなければならないと考えます。

先般の東日本大震災の惨状をみましても、今後、「想定外」ということは、あってはならないことと存じます。

つきましては、一刻も早く計画の見直しと大幅な修正を行われますよう、下記のとおり御要望申し上げます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

## 記

### 1 加茂川の下流部の堆積土砂の全部撤去について

平成21年度から着手した加茂川の堤防嵩上げ工事については、下流部の堆積土砂は半分撤去することになっておりますが、これでは明らかに不十分であることが判明いたしましたので、下流部の堆積土砂は必ず全部撤去することに計画を修正されますよう、お願い申し上げます。

なお、このたびの7.29豪雨で、右岸において溢水した所がありますので、そのような区間については、計画の堤防嵩上げ高を増やす必要があり、よろしくお願い申し上げます。

### 2 下条川の堤防を少なくとも3メートル嵩上げすることと下流部の土砂の全部撤去について

(1) 下条川の下流部の堤防嵩上げ工事については、概ね30センチの嵩上げとすることになっております。しかしながら、このたびの7.29

豪雨では、下条川ダムの放流を行わざるをえなくなり、その結果、水位は急速に上昇し、遂に溢水まであとわずかに13センチまで迫りました。従って、今や30センチの嵩上げは、ほとんど無意味であります。

(2) つきましては、下条川の堤防の嵩上げを「概ね30センチ」から「少なくとも3メートル」に修正されますよう、お願い申し上げます。

(3) 下条川下流の堆積土砂も全部撤去することに計画の修正をお願いいたします。

### 3 その他、次のとおり御要望申し上げます。

(1) 下条川上流の未改修部分の事業を直ちに再開し、早急に完成していただきたい。

(2) 大正川の排水ポンプの増設を早急に行っていただきたい。

(3) 下条川において、水位計を加茂市がさらに設置することをお認めいただきたい。加茂川の一部についても、お認めをお願いいたします。

(4) 布施谷川下流部の堤防嵩上げと排水ポンプの大幅な能力アップを行っていただきたい。

平成23年のできごと

平成二十三年は、大災害に見舞われた年でした。そして被災地で活動する人々と支えあう人たちの絆が世界中に報道されました。そのような中で、女子ワールドカップ・サッカーでなでしこジャパンが優勝という日本を勇気づけてくれるニュースもありました。加茂市でも、大震災の避難所開設や被災地への給水活動などで支援を続けました。加茂市の一年間のできごとをまとめましたのでご覧ください。



市長選挙・市議会議員選挙（4月24日）

市長選挙は20年ぶりに無投票で、小池清彦市長の5期目の市政がスタートしました。市議会議員選挙は定数20人に21人が立候補し、投票率は61・67%でした。



7月29・30日新潟・福島豪雨

信濃川、加茂川、下条川などの水位が上昇し、市内に避難指示、避難準備情報を出して、スクールバスなどによる避難誘導を行いました。

平成23年 加茂市のできごと

- 1月1日 元旦マラソン
- 9日 消防出初式
- 16日 市民囲碁大会
- 20日 新春美術展・いけばな展  
(～24日)
- 21日 小中学校書初展(～23日)
- 23日 文化財防火デー放水訓練  
(黒水・鶴巻家住宅)
- 24日 市議会1月臨時会
- 28日 大島町椿まつり親善訪問  
(～30日)
- 30日 市民将棋大会
- 2月5日 ふるさと加茂かるた大会
- 20日 雪上レクリエーション大会
- 24日 平成23年度当初予算案発表
- 3月7日 市内中学校卒業式
- 8日 市議会3月定例会(～24日)
- 20日 加茂体操クラブ・新体操教室加茂RG発表会
- 25日 市内小学校卒業式
- 27日 第29回民踊まつり
- 28日 加茂市表彰式
- 4月3日 加茂山一斉清掃
- 6日 市内小中学校入学式
- 10日 新潟県議会議員一般選挙投票日
- 16日 第32回雪椿マラソン
- 17日 トレジャーハンティング

# 加茂市のできごと 2011

## 世界のできごと・日本の出来事

- 1月14日 チュニジアでジャスミン革命発生
- 23日 宮崎県で鳥インフルエンザを確認
- 30日 カザフスタンで冬季アジア大会開幕
- 2月3日 大相撲八百長問題発覚
- 6日 大相撲春場所中止決定
- 22日 ニュージーランドで大地震発生
- 3月5日 東北新幹線新型車両「はやぶさ」登場
- 11日 東日本大震災発生
- 12日 長野県北部地震発生  
九州新幹線博多新八代間開業
- 4月1日 上野動物園ジャイアントパンダ  
リーリー・シンシン一般公開
- 27日 富山県の焼肉店で集団食中毒事件
- 29日 英ウィリアム王子結婚
- 6月16日 世界各地で皆既日食
- 24日 小笠原諸島が世界自然遺産に
- 26日 平泉の中尊寺などが世界文化遺産に
- 7月18日 女子ワールドカップサッカー  
なでしこジャパン優勝
- 21日 スペースシャトル全機退役
- 23日 中国で高速鉄道事故
- 24日 テレビ放送地上デジタル化実施
- 8月30日 第95代内閣総理大臣に野田佳彦氏
- 9月3日 台風12号紀伊半島に被害
- 10月31日 国連推計で世界人口が70億人に
- 11月8日 オリンパス巨額粉飾決算発覚
- 20日 プロ野球ソフトバンク日本一
- 12月17日 北朝鮮最高指導者死去



### 東日本大震災・長野県北部地震 災害派遣

二つの地震災害に加茂市から給水車と救急救助隊が出動しました。また、食料・毛布の支援物資や長期になると見越した被災者受け入れや避難所運営を行いました。



20日	19日	15日	9月1日	28日	8月14日	25日	24日	22日	11日	3日	7月1日	21日	15日	5日	6月3日	31日	23日	21日	15日	9日	5月3日	29日	4月24日					
市議会9月定例会(10月3日)	敬老会	長瀬神社秋季祭礼	青海神社秋季祭礼	第29回舞踊まつり	第26回越後加茂川夏祭り	市議会7月臨時会	へら鮒釣り大会	第54回総体総合開会式	市(18日)	全国松坂小唄日本一大会	コムソモリスク市子供代表団来	確定	農業委員会委員一般選挙無投票	加茂桐たんす展(3日)	市議会6月定例会(7月1日)	上条まつり	歯つぴいスマイル(無料歯科健診)	加茂川一斉清掃	国際交流の集い	市民大学講座(7月18日)	市議会5月臨時会	加茂まつり	春季消防演習	中学生武道授業・演武会	成人式	大通り春まつり	栗ヶ岳山開き	加茂市議会議員一般選挙投票日

# 加茂市のできごと 2011



## 第45回雪椿まつり（4月）

東日本大震災の影響で雪椿まつりは、雪椿マラソンとトレジャーハンティングだけの実施となりました。



## コムソモリスク市代表団来市（7月11日）

12回目の来市となる今回、まずは震災へのお見舞いの言葉をいただきました。訪問した小中学校では昔話の演劇などで交流を深めました。



## 新体操教室「加茂RG」発表会（3月20日）

元オリンピック代表選手の齋藤里絵子先生が指導される教室の受講生たちが、練習の成果を発表しました。将来、代表選手をめざす子供たちの演技が光っていました。



## 中学生武道合同授業（10月4日）

全国に先駆けて行われている中学生の武道授業は、今年も六種目からの選択制で実施されました。中学生からは「実際にやってみて興味もてた」という感想が聞かれました。

12月26日	12月8日	12月27日	12月19日	12月15日	12月11日	12月6日	12月3日	11月2日	11月31日	11月30日	11月29日	11月24日	11月23日	11月15日	11月10日	10月4日	10月2日	10月28日	9月23日							
東京交響楽団第九合唱演奏会	市議会12月定例会（～26日）	勤労青少年ホーム紅葉祭	世界の料理パーティー	金婚を祝う会	2011（～13日）	商工フェア・小京都加茂秋物語	第8回加茂菊花展（～23日）	第36回市民音楽祭	栗ヶ岳山じまい	第55回小学校音楽発表会	第55回中学校音楽発表会	健康ウォーク	第17回公民館作品展	第44回市展（～11月3日）	市議会10月臨時会	へら鮒放流式	第5回かも福祉フェスティバル	大通り秋まつり・農業まつり	慕情全国大会	第6回加茂川ブルース・加茂川	第30回市民カラオケ大会	第33回市民芸能祭	中学生武道合同授業（～27日）	交通事故ナシ街頭指導	冬鳥越クロスカントリー大会	第11回加茂市長杯



# 加茂市のできごと 2011



## 第26回越後加茂川夏祭り（8月14日）

豪雨災害の影響が心配されましたが、会場の河川敷整備も間に合い、約四万人の来場者の皆さんから楽しんでもらうことができました。



## 加茂川ブルース・加茂川慕情全国大会（10月10日）

広い舞台の中、一人で歌っていると歌詞を間違える方もいて、審査委員長の山岸之起先生も「おもしろいですね」とおっしゃっていました。



## 第44回市展（10月29～11月3日）

6部門に一般応募作品169点、審査委員・無鑑査作品と合わせて263点が市民体育館に展示されました。



## 第8回加茂菊花展（11月6～23日）

駐車場に面した展示台につられて訪れる人も多く、菊の大輪やめずらしい木付けの作品を楽しむことができました。



## AKARIBAウェディング（9月25日）

加茂青年会議所が企画・演出した1組の結婚式。灯ろうの明かりの中で大勢に人たちが二人の門出をお祝いしました。



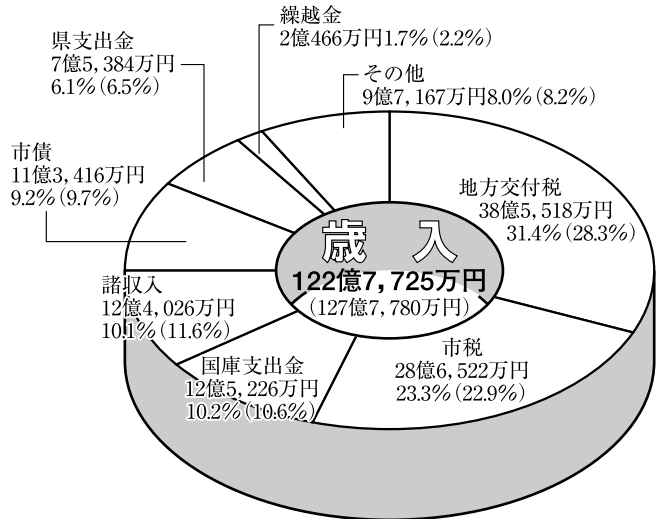
## 小京都かも秋物語2011（11月11～13日）

ジャズの生演奏を聞きながら、加茂の新メニューを楽しむことができました。加茂出身画家の作品展も大変好評でした。

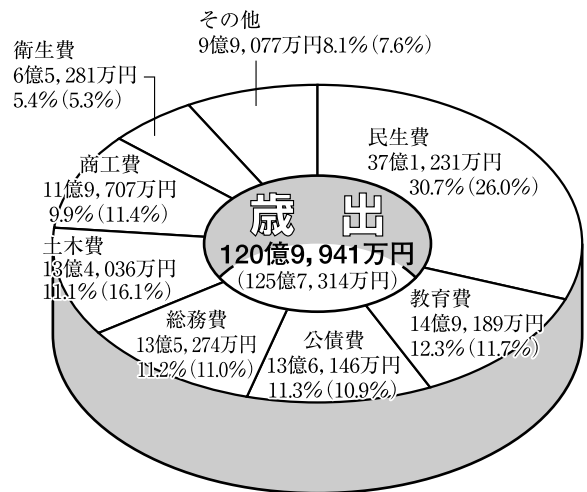
# 平成22年度決算

平成22年度の決算がまとまり、市議会12月定例会において認定されました。一般会計と特別会計の歳出の合計は203億8,885万円となっています。この内容を表とグラフでご覧ください。

## 一般会計120億9,941万円



## 一般会計決算



[グラフ・表の( )内は平成21年度のものです]

### 市税の負担状況 (平成23年3月31日現在の人口 30,508人、世帯数 10,168世帯)

項目	収入済額	1人当たり	1世帯当たり
市民税	12億4,395万円	40,775円	122,340円
固定資産税	12億6,964万円	41,617円	124,866円
軽自動車税	6,426万円	2,106円	6,320円
市たばこ税	1億3,962万円	4,577円	13,731円
都市計画税	1億3,849万円	4,539円	13,620円
入湯税	569万円	187円	560円

### 市民1人当たりの一般会計歳出額396,598円

民生費	121,683円	土木費	43,935円
教育費	48,902円	商工費	39,238円
公債費	44,626円	衛生費	21,398円
総務費	44,341円	その他	32,475円

### 性質別経費 (普通会計)

人件費	22億5,799万円	18.8% (18.7%)
物件費	16億3,200万円	13.6% (13.3%)
扶助費	16億817万円	13.4% (10.2%)
繰出金	15億7,069万円	13.1% (11.9%)
公債費	12億8,692万円	10.7% (10.4%)
補助費など	12億5,342万円	10.5% (11.2%)
投資出資など	11億716万円	9.2% (9.9%)
建設事業費	7億4,023万円	6.2% (11.2%)
その他	5億4,499万円	4.5% (3.2%)
合計	120億157万円	

性質別経費は統計の取り方が異なるため一般会計歳出額とは一致しません。

市債現在高は115億9,788万円为国が全額負担する分を除くと73億9,509万円となり、これを返済するとき、国がさらにその一部を負担しますので、実際に加茂市が返済する金額は48億5,319万円となります。

区分	現在高
1 総務債	6億5,909万円
2 民生債	8億97万円
3 衛生債	9億734万円
4 農林水産業債	4億9,258万円
5 商工債	808万円
6 土木債	24億1,083万円
7 消防債	2,836万円
8 教育債	9億6,548万円
9 災害復旧債	7,068万円
10 転貸債	1,057万円
11 減収補てん債	1億6,570万円
12 退職手当債	8億7,541万円
小計	73億9,509万円
13 減税補てん債	4億9,235万円
14 臨時税収補てん債	9,935万円
15 臨時財政対策債	36億1,109万円
一般会計総計	115億9,788万円

### 特別会計決算 (単位:万円)

会計名	歳入合計	歳出合計	差引残額
国民健康保険	29億9,603	30億1,461	△ 1,858
老人保健	1,103	172	931
後期高齢者医療	2億7,023	2億6,536	487
宅地造成事業	1億5,674	1億3,627	2,047
下水道事業	19億5,593	19億4,371	1,222
介護保険	25億1,636	24億7,990	3,646
在宅介護サービス事業	5億1,369	4億4,787	6,582

# 人権擁護委員の活動

加茂市には法務大臣から委嘱を受けた五名の人権擁護委員がいます。嫌がらせやいじめ、差別などの人権侵害を無くすため、市や法務局との連携を取りながら特設人権相談所や自宅でも人権に関する悩みごとの相談に応じています。

また「中学生人権作文」コンテスト、小学生に花の苗を配布する「人権の花運動」を通じて、地域

での人権啓発活動を行っています。

その一環として、加茂市の人権擁護委員と三条人権擁護委員協議会紙芝居部会が、マスケット「人権あゆみちゃん」を伴って、高柳保育園を訪問し、高柳保育園児と七谷保育園児の前で、優しい心、思いやりの心のお話の紙芝居を披露し、園児からの歓迎を受けました。

このように、人権擁護委員は前述の特設人権相談所のほか、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。

加茂市内の人権擁護委員は次の皆さんです。

- ▼西村國一さん (千刈 2・1・5)
- ▼廣野豊作さん (若宮町 1・14・1)
- ▼小池俊木さん (本町 1・1)
- ▼山川裕士さん (若宮町 1・5・6)
- ▼太田由紀子さん (栄町 10・7)



## ありがとう



### 赤い羽根共同募金に協力 (12月28日)

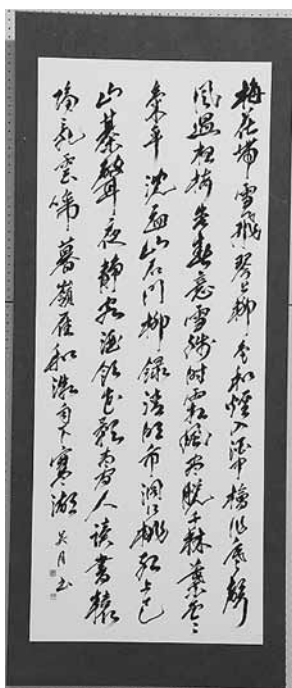
ボーイスカウトとガールスカウトが年末に街頭募金活動 (ボーイスカウト27,876円、ガールスカウト29,546円) を行い、市役所に届けていただきました。募金は市の日の出店場所やスーパーの店頭で行ったということです。この募金には大勢の市民の皆さんからご協力をいただきました。

### 訂正とおわび

広報かも十一月号 (No.665) に誤りがありましたので訂正し、おわびいたします。

は左の作品です。  
▼16ページ上段の秋の叙勲で藤田郁男さんの受章は「瑞宝小綬章」です。

▼11ページ下段の第44回市展・書道部門奨励賞の小柳美月さんの作品を誤って掲載しました。正しくをおわびします。



第44回市展 書道奨励賞「七言絶句三首」小柳美月

# 神道無念流鷲尾甚助の側面

## （ 国学者たちとの交流 ）

本量寺の裏手の山に祀られている新宮稻荷社の社前に一對の石燈籠がある。風化して読み難いが棹部に「文政十三年願主鷲尾甚助」と刻されている。甚助は元尾張藩士で同藩の剣術指南役となる江戸の永井軍太郎から免許皆伝を受けた神道無念流の剣術者である。浪人となって文化十年（一八一三）

（一七七七〜一八四三）に入門している。また同十一年に柏崎の神官樋口因幡正英哲は甚助に入門し、その数日後に平田塾にも入門している。甚助は剣術指南の傍ら彼等との親交を通して平田国学に志向していった。

この年の三月から五月にかけて国学の普及と門人獲得を目的に、鷲胤の後継者平田鋏胤（一七九九〜一八八〇）が越後を巡村し、四月十八日、三条の宮嶋宅で甚助は初めて会ったが知己となり、五月

にも柏崎の英哲宅で居合わせた。

一方、早くから鷲胤の門人となっていた館林藩士生田万は、藩政改革の意見書を提出したが受入れられず同藩を追放されていた。平田塾の気吹舎で親しかつた英哲の勧めにより、万は天保七年（一八三六）に柏崎に居を移した。甚助は万とも親交を持つようになった。気吹舎日記には、同三年七月、江戸の平田篤胤のもとに甚助が訪ねたこと、宮嶋・上杉らの書状を届けたこと、また万や彼等の書簡が平田のもとに頻繁に往復していたことなどが記録されている。

鷲尾甚助は平田塾の門人帳に名を連ねるほどでなかったが、彼等を通して熱心に平田篤胤に師事したのであろう。生田万が陣屋役人の不正と米不足にあえぐ窮民を救おうと甚助ら六人で、桑名藩柏崎陣屋に乱入したのは、翌八年六月一日であった。万をはじめ同志が死亡するなか、甚助は逃れて江戸の尾張藩邸に自首し、その後牢獄死した。甚助の年齢は明確にしないが、柏崎の取調書では五十歳位とも五十四、五歳ともいわれ、大男であったという。

あーい  
わーい  
とーい

### 社会福祉費寄付金

▼あいさい市（美人の湯特産品コーナーに出店）から 二万五千元

市内小中学校・保育園・幼稚園へ

▼小柳建設株式会社から 図書カード二十八万円分（各校・園に一万円分の図書カードをお届けしました）

# 加茂の風土記

少年が占めた。地域は加茂・上条をはじめ三条・燕など近郷や柏崎・魚沼・佐渡・武蔵に及んでいた。門人のなかには、三条町の大庄屋宮嶋儀左衛門や燕町在の小関村元庄屋上杉六郎らがあり、彼等は文政三〜十一年（一八二〇〜二八）に江戸の国学者平田篤胤



鷲尾甚助の肖像画（品田靖氏所蔵）

（関 正平）

### 人口のうごき

12月1日現在  
世帯 10,201 (+7)  
人口 30,287 (-50)  
男 14,615 (-33)  
女 15,672 (-17)  
( )内は前月比  
(11月異動分)  
出生 13 (男5女8)  
死亡 39 (男21女18)  
転出 54 転入 30